

フランス語インテンシブ I FB
慶應義塾大学 SFC フランス語教室
2022 年秋学期

SFC におけるフランス語教育は、実際に使えるフランス語を身につけることを第 1 の目標としています。一方的に文法知識を詰め込むという従来の方法から脱皮し、インターラクティブな授業を進める中で、総合的な外国語運用能力を養います。

インテンシブ 1 には教科書を使うクラス(1FB)と教科書を使わないクラス(1FA)がありますが、1FB のクラスではフランスで出版された *Agenda 1* (アシェット[Hachette]社) を教科書として使用します。この教科書は「学習者が協働して、毎回 1 つのタスクを達成していく」ことを目的にして作られています。

ただし、教科書はあくまでも学習の補助手段です。生きたフランス語は 1 冊の教科書の中に閉じ込められているわけではありません。我々教員も随時様々な補助教材を利用して、みなさんの知的好奇心を刺激しながら、教室での授業を運営していきます。みなさんには知識に対する貪欲さ、自分を表現し、他人を理解する意欲を十分に見せて欲しいと思います。

インテンシブ 1 では、国際基準であるヨーロッパ言語共通参照枠の CECR (英語なら CEFR) の A1 レベルの項目をマスターすることを目標としています。授業に積極的に参加することが、フランス語インテンシブで成功するための一つの鍵です。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることなど恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」経験値を増やしてください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310 のフランス語研究室へ気軽に足を運んでください。ここには教員だけでなく、CA (コーディネートアシスタント)、TA、SA がいます。フランス語研究室からの連絡はメール、フランス語研究室のホームページ([http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/))で行います。ぜひいつも見るようにしてください。Twitter、Instagram から情報発信するのでフォローしてくださいね。それでは、

Allons-y !

・今学期のフランス語インテンシブ

今学期のフランス語の授業はキャンパスで行います。ただし、各クラスの担当の先生が諸状況や学習の内容・効率性など様々な要素を考慮してオンラインで実施する場合があります。SOL の授業ページや、授業で使用される Slack などから各自確認をしてください。

もしオンラインで授業をする場合は、基本的に Zoom を利用します。しかし、授業の内容や学習活動、学生のみなさんの学習環境や要望も考慮しながら、柔軟に対応します。授業に参加する際には、スマートフォンなどよりも、パソコンを使うことが望ましいでしょう。

・教材

各曜日第 1 週は cours d'initiation という教材を使います。初回の授業で配布します。その後はフランスで出版されている *Agenda 1* (Hachette 社) を使います。教科書と音声ファイルで構成されています。

SFC キャンパス購買部等で各自で必ず入手してください (税込 4,400 円)。

音源はこちらから各自で入手してください。

以下のページの <ressources gratuites à télécharger> (無料ダウンロードできるリソースの意) と書かれた欄の上から 4 つ目にある Agenda Audios du livre de l'élève の左のマーク  をクリックすると無料でダウンロードができます。

<https://www.hachettefle.com/grands-ados-et-adultes/agenda-1/agenda-1-livre-de-leleve-dvd-rom>

・授業回数

インテンシブのクラスは週 4 回です。4 名の教員が、1 回ずつ担当します。

	火	水	木	金
1FB	2 限 : Silva	2 限 : 倉舘	2 限 : 西川	1 限 : Maréchal

教員への連絡はメールや Sol 等で直接行なってください。連絡先のメールアドレスは、各担当の先生の初回の授業で確認してください。

・授業の進度、構成、内容

各曜日第 1 週は Cours d'initiation という教材を用います。その後 *Agenda 1* を用い、Jour 1, rendez-vous 1 から Jour 5, rendez-vous 2 まで進みます。基本的に 1 週間 4 回の授業でひとつのレッスン (*Agenda 1* では、rendez-vous と言います) を終えます。

ひとつのレッスンは次の 4 つのアクティビティにわかれます。

1. à découvrir (発見しよう) : 導入部分。リスニングを中心に、その課の全体的な理解をします。
2. à savoir et à prononcer (知ろう、発音しよう) : その課の文法事項と発音を学びます。
3. à faire (やってみよう) : その課の内容にあわせて、クラスで協働作業をします。
4. réinvestissement (アクションを通して使ってみよう) : その課で学んだことが、どのような場面で、またどのような意味合いで使われるのか、総復習の回になります。実践演習だけではなく、ゲームなどのアクティビティを通して理解を深めます。

詳しい進度はプログラムを参照してください。

- ・ **成績評価の方法** : 教員 4 人×25 点 合計 100 点

25点の内訳は、各教員が授業初回時にアナウンスします。

- ・ **最終試験**

最終試験は、各担当教員の最後の授業の回（1 月 19 日木曜、20 日金曜、24 日火曜、25 日水曜）に行ないます。ただし、petit test など、普段の授業での課題も評価の対象となります。

※追試は一切行ないません。

- ・ **講演** Conférence / Grande Rencontre

今学期は、授業の一環としてフランス語セクション主催の講演会を 1 回、Grande Rencontre（インテンシブ・フランス語を履修している学生が一堂に集まる会です）を 1 回予定しています。Conférence, Grande Rencontre はインテンシブ・コースの一環です。また Conférence, Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行いません。

- ・ 10 月 28 日（金）2 限 Grande Rencontre
- ・ 12 月 15 日（木）2 限 Conférence（オンライン開催）

詳細については、後日、メーリングリストや SNS などでお知らせします。

- ・ **来期以降の履修**

次の 2 つの履修が可能です。

- 直後の学期にインテンシブ 2 へ進む。履修資格はインテンシブ 1 の単位が取得できていることです。
- もっと上位のレベルの授業に挑戦する。この場合は、各学期のガイダンス期間中に実施される資格認定試験 (<https://language.sfc.keio.ac.jp/guidance/>) を受けて、履修許可を得る必要があります。

SFC フランス語研究室 HP にある自習で使える WEB 教材

Livret de grammaire

<https://french.sfc.keio.ac.jp/home/classes/grammar-in-fr/>

教科書 Agenda 1 の文法補助教材です。

・ **SFC フランス語研究室のホームページ**

<https://french.sfc.keio.ac.jp/home/>

・ **twitter : SFC フランス語研究室 SA・TA 公式アカウント** @sfc_francais

・ **Instagram : SFC フランス語研究室** @sfc_francais

・ **国内研修**

アンスティテュ・フランセ東京(Institut français Tokyo)では、毎年大学の長期休暇時期に合わせて大学生対象フランス語インテンシブプログラムを実施しています。東京にいながら留学の疑似体験をすることができます。

<https://www.institutfrancais.jp/tokyo/apprendre/stages/>

・ **授業以外のフランス語学習**

NHK のフランス語講座の時間帯は次の通りです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語編（月～水は入門編、木・金は応用編）

放送：月～金曜日 午前 7：30～7：45

再放送：同日 月～金曜日 午後 2：30～2：45

再放送：翌週 月～金曜日 午前 11：00～11：15

テレビ：旅するためのフランス語

放送：火曜日 23:30～23:55

再放送：水曜日 14:00～14:25 と翌週火曜 06：00～06:25

そのほかに、次のようなサイトもあります。

<http://www.radiofrance.fr/> フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/> フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.tv5monde.com/> フランス語の国際テレビネットワーク TV5 Monde のサイトです。

<https://www.arte.tv/fr/> フランス・ドイツの共同出資テレビ局のサイトです。

<http://www.lemonde.fr/> フランスの新聞 *Le Monde* を読むことができます。

・ DELF/DALF

DELF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986 年 5 月より行なわれているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構 Commission Nationale 全国委員会の管理のもと世界 160 余力国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。DELF は A1, A2, B1, B2 の 4 段階、DALF は C1, C2 の 2 段階に分かれています。詳しくは DELF/DALF 試験管理センターのサイト (<http://www.delfdalf.jp/>) を参照してください。

・ TCF

TCF (Test de Connaissance du Français フランス語能力テスト) はフランス文部省公認の世界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は可否でなく、得点で示されます。獲得得点は 2 年間有効です。試験は内容別に 3 つ (読解, 文法, 聞き取り) にわかれ、フランス語の総合力を確実かつ正確に診断するとしています。

https://www.delfdalf.jp/tcfmodalites_jp.php

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル		TCF	DELF/DALF
レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、かつ的確に要約することができる。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べるができる。	600～699 点	DALF C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、そのほとんどを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢かつ論理的に述べるができる。	500～599 点	DALF C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用できる。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確かつ詳細に述べるができる。	400～499 点	DELF B2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなし、自分に興味のあることを話すことができる。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。	300～399 点	DELF B1

レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。 慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現できる。	200～299 点	DEL F A2
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～199 点	DEL F A1

・ 仏検（実用フランス語技能検定試験）

秋の仏検には準 1・2・準 2・3・4・5 級の各試験があります。

実施日程：

1 次試験（準 1・2・準 2・3・4・5 級） 2022 年 11 月 20 日（日）

2 次試験（準 1 級・2 級・準 2 級の 1 次合格者対象） 2023 年 1 月 22 日（日）

受付期間：

願書郵送による申し込み：2022 年 9 月 1 日（木）～ 10 月 19 日（水）消印有効

インターネットでの申し込み：2022 年 9 月 1 日（木）～ 10 月 26 日（水）23:59 まで

問い合わせ先：財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局 <http://apefdapf.org/>

tel: 03-3230-1603 fax: 03-3239-3157

*メディアセンターの MMLS（マルチリンガル・スペース：下記参照）に、過去の問題集（音源付き）があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！

・ マルチリンガル・スペース(MMLS)

メディア・センター2 階に「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。その居心地の良い空間には CD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書（仏検、DEL F・DAL F 参考書も）などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。

また、フランス語共同研究室隣の 309 にもフランス語版 MMLS があります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員や TA、そして SA もすぐ近くにいるので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。あとはあなたのやる気次第。どんどん利用して、フランス語の達人になりましょう！

2022 年 10 月

慶應義塾大学 SFC フランス語セクション